

枚方市子ども・子育て支援事業計画策定の背景（概要）

子ども・子育てを取り巻く環境変化

- 少子・高齢化・核家族化の進行、出生数・出生率の低下
- 晩婚化、未婚化の進展
- 女性（25～39歳）の就業率の増加
- 保育所入所児童数の増加及び幼稚園入園児童数の減少
- 待機児童の発生
- 延長保育、一時預かり、ショートステイの利用の増加
- 小学校児童数の減少、中学校生徒数の微増
- 留守家庭児童会室利用者の微減
- 心の教室相談員相談件数の増加
- 家庭児童相談件数の増加（虐待、不登校等）

施策の進捗状況の把握と評価

- 継続・推進が90%以上（求められていること）
- 土曜日の居場所づくり、子どもたちの自主的な文化活動の促進
- 保育所（園）の老朽化対策、幼稚園教育の充実、学校施設の老朽化対策や基礎学力の向上、小中の連携強化、小1・中1フロプレム
- 妊産婦の健康診査の受診や乳幼児への予防接種の促進、未熟児等の保健事業の推進、子どもへの医療対策の充実、地域子育て支援拠点や一時預かり事業の拡大
- 待機児童の解消→保育所の定員増や幼稚園の一時預かりの拡大、留守家庭児童会室における受け入れ体制整備、ワーク・ライフ・バランスの啓発活動の推進や事業者との連携・強化
- 子どもへの虐待のないまちづくり推進のための関係機関の連携強化、いじめの未然防止、体罰の根絶に向けた取り組みや相談体制の強化、ひきこもりや不登校などへの相談環境の充実
- 授乳室やオムツ交換スペース等の情報提供の推進、学校園等における自転車利用のマナー向上、学校における子どもの安全を確保しようという意識の醸成、道路の段差解消の推進

制度改正

- 質の高い、幼児期の教育・保育の総合的な提供
- 保育の量的拡大・確保（新たに幼保連携型認定こども園の普及や小規模保育事業の実施など）
- 地域における子ども・子育て支援の充実（一時預かり事業や放課後児童健全育成事業の拡大など）

ニーズ調査結果

就学前

- 母親の就労は約50%。うちパート等が約50%（うちフルタイム転換希望が約30%。）
- 仕事を持たない母親の就労希望は約50%（主にパート・アルバイトを希望。）
- 就労希望がありながら働いていない主な理由は、「働きながら子育てできる適当な仕事がない」が44.8%。
- もう1人産み育てるために経済的環境の整備を希望する人が約60%。
- 子育てを楽しいと感じる71.3%、つらいと感じる1.8%、同じくらい23.7%。
- 子育てのつらさを解消するのに必要な支援は、地域における子育て支援サービスの充実43.8%、保育サービスの充実38.9%、仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備34.0%。
- 現在の保育サービスの利用状況は62.4%で、利用者のうち認可保育所が49.2%、幼稚園32.4%、幼稚園の預かり保育14.2%など。
- 平日に利用したい保育サービスは、認可保育所38.6%、幼稚園+幼稚園の預かり保育34.8%、幼稚園23.5%など。利用日数は「5日」が多い。
- 幼稚園を利用している人は、長期休暇中の利用希望が62.9%と多い。
- 子どもを預かる不定期な利用の現状について、一時預かりの利用は8.6%、幼稚園の預かり保育の利用は12.1%。利用希望者は46.7%。
- 現在5歳児で小学校での放課後の過ごし方の希望の中で、留守家庭児童会室の利用は低学年で41.6%、高学年で24.8%。
- 地域子育て支援拠点事業の利用は11.9%、今後利用したいは18.9%。
- 行政に対して充実を望む施策は、親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設整備、オムツ替えや授乳スペースづくりなど子育てのバリアフリー化、子育て世帯への経済的援助の拡充、安心して子どもが医療機関を利用できる体制整備、保育所や留守家庭児童会室等の施設や定員増、一時預かりなど多様な保育サービスの充実などなどと回答された割合が高い。

小学生

- 母親の就労は約60%。うちパート等が約60%（うちフルタイム転換希望が20%強。）
- 仕事を持たない母親の就労希望は約40%（主にパート・アルバイトを希望。）
- 就労希望がありながら働いていない主な理由は、「働きながら子育てできる適当な仕事がない」が52.6%。
- 留守家庭児童会室の利用は13.5%。利用していない人の利用希望率は11.1%。
- 留守家庭児童会室を利用している人の希望する小学5年生以降の放課後の過ごし方は、留守家庭児童会室の利用が50.6%、スポーツクラブや学習室などの習い事が39.0%、放課後自習教室が36.4%など。

幼稚園

- ほぼ毎日の預かり保育利用の割合は12.3%。
- 「両親世帯の共働き」、「母子世帯の就労あり」で預かり保育利用率が高い。

高校生

- 将来子どもを育てたいと思う人は73.6%、育てたくない人は10.5%。
- 育てたくない人の主な理由は、「子どもを育てる自信がない」「お金がかかる」「子どもが好きではない」。男性では「お金がかかる」の割合が女性よりも22.2ポイント高く、女性では「子どもが好きではない」の割合が男性よりも15.2ポイント高い。
- 将来子どもを持つにあたって主に心配・不安なことは、「育児・養育費用」「出産費用」「子どもの教育方針」「仕事への影響」などの回答が多い。